

私たち、署名者は、

プラスチック汚染をそのライフサイクル全体にわたって終わらせ、プラスチック生産を削減することを目指す、真に野心的で法的拘束力のある「国際プラスチック条約」の創設を支持します。これは、地球温暖化を1.5度に抑え、生物多様性を保護するために不可欠であると考えています。

私たちは、地球の限界(プラネタリーバウンダリー)の範囲内で機能する新しいシステムの構築が可能と信じており、強力な条約はそこに向けた公正な移行を加速することができます。

科学者たちはすでに、プラスチック汚染が「安全な地球の限界を超え」、地球の安定を脅かしていると警鐘を鳴らしています。さらに、このまま何も対策を取らなければ、2040年までに河川や海に流入するプラスチックの量が3倍になり、プラスチックが総炭素収支の19%を占めると推定されています¹。この状況は、世界中で人々が経験している健康と生計への悪影響の増加と相まって、大胆な措置を必要としています。

私たちは、真に野心的な条約とは、プラスチック汚染の根本原因に対処し、化石由来の原料に依存しないリユース(再利用)モデルへの転換を促進するものであると信じています。

私たちは、2040年までにプラスチック汚染を終わらせるという高野心連合(HAC)のコミットメントを支持し、すべての政府に対して、次の分野を優先する国際プラスチック条約の確保を求めています：

- ❖ **プラスチック生産の上限設定**、歴史的な基準をベースラインにし、地球温暖化を1.5度に抑え、生物多様性を保護するために、野心的な年間削減目標を設定します。
- ❖ **使い捨てプラスチックの段階的廃止** - プラスチック製小袋のような最も問題な品目の禁止から始めます。さらに、非常に問題のあるポリマーや化学物質を排除しなければなりません。
- ❖ **リユース(再利用)システムの目標** (社会規模での普及を促進するために)、世界的に統一されたリユース基準と資金によって支えられた目標を設定します。

¹プラスチックのライフサイクル全体、つまりその生産、使用、廃棄を指します。出典：https://www.peitrusts.org/-/media/assets/2020/07/breakingtheplasticwave_report.pdf

- ❖ **正義に焦点を当てたアプローチ** プラスチック汚染の影響を最も受けるコミュニティの権利を中心に据え、公正な移行を支援します。²

これらの分野が効果的であるためには、地球の限界、人間の健康を尊重し、地球温暖化を1.5度に抑えるために、各分野に適用可能な拘束力のあるグローバルな目標と期限が必要です。さらに、目標に対する進捗の透明性を確保し、大企業および各国によるプラスチック削減の報告を義務付ける必要があります。

野心的な条約を支持することで、私たちは、ゼロウェイストヒエラルキーに則った、削減とリユース（修理、改修、再製造を含む）を優先する真に循環型の解決策を支持し、創造し、推進することを約束し、条約の実施に向けて協力して取り組むことを誓います。

²先住民や影響を受けるコミュニティの権利を尊重し、中心に据えます。これには、障害者コミュニティ、フェンスラインコミュニティ、非公式の廃棄物セクター、プラスチック生産や汚染に関連する生活や健康への重大な悪影響を経験しているコミュニティが含まれますが、これに限定されません。